

## 島田市子ども・子育て支援事業計画（案）のパブリックコメントの実施結果

島田市では、幼児期の教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため、平成27年度から平成31年度までの5年間の計画期間とする「島田市子ども・子育て支援事業計画（案）」を策定しており、平成27年2月2日（月）～平成27年3月5日（木）にパブリックコメントを実施しました。

つきましては、本件パブリックコメントの実施結果について、次のとおり報告します。

1 募集期間 平成27年2月2日（月）～平成27年3月5日（木）

2 意見提出状況 8人の方から26件

3 提出された意見に対する考え方

(1) 意見により計画書を修正するもの

番号	区分	意見又は意見に対する考え方の内容
1	意見	<p>「子ども・子育て支援事業計画」の策定根拠は「子ども・子育て支援法」です。</p> <p>法の基本理念は「子ども・子育て支援は、父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に・・・」となっています。</p> <p>このことを記載する必要があると考えます。</p> <p>特に52項の「現状・課題」の「子ども・子育て支援法」では、「基本理念」の次に記載が必要と考えます。</p>
	意見に対する考え方	<p>子ども・子育て支援法第2条の規定（基本理念）が「子ども・子育て支援は、父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に」との記載から始まっていること、更に第5章のめざす子育て1が子育てにおける家庭の役割の重要性について記載していることから、ご意見のとおり訂正します。</p>
	修正箇所	<p>第5章 子育て施策の展開 めざす子育て1 親力の育成 現状・課題1行目</p> <p><b>【修正前】</b> 「<u>家庭、学校、地域、職域その他の社会のあらゆる分野における全ての構成員が、各々の役割を果たすとともに、相互に協力して行われなければならない</u>」</p> <p>↓</p> <p><b>【修正後】</b> 「<u>父母その他の保護者が子育てについて第一義的責任を有する</u>」</p>
2	意見	<p>放課後児童クラブについて</p> <p>対象となる子どもの範囲が拡大することは、これから働くお母さん方にとってとてもありがたいことです。</p> <p>放課後児童クラブの方針として、家庭的な雰囲気でもっとできる居場所となるよう環境づくりに努めるとのこと、基本的に一番大事なことだと思います。</p>

	<p>さらに家庭の雰囲気プラスして考えていただきたいことは、人数が増えれば増えるほど、集団生活のルールなどの社会性を考えた生活の仕方、環境づくりも必要になってくると思われます。今後、放課後児童クラブも”小さな社会”になっていくと思われます。</p>
意見に対する考え方	<p>ご意見のとおり、放課後の時間や休日を児童クラブで過ごす子どもにとって、自主性、社会性、創造性を培う場として、児童クラブが大きな役割を担っており、支援体制の充実が求められることから、このことを第4章の中の放課後児童健全育成事業の今後の方向性の中に追加します。</p>
修正箇所	<p>第4章 教育・保育事業、地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保の内容</p> <p>3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保の内容</p> <p>(1) 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）</p> <p>今後の方向性</p> <p>②提供体制と確保の考え方</p> <p><b>【追加】</b></p> <p>○子どもたちが集団生活や遊びを通して自主性、社会性、創造性を培えるよう生活環境の整備と支援体制の充実に努めます。</p>

(2) 計画書の修正を行わないが、今後の行政運営の参考とする意見

1	意見	<p>静岡県が出生率2を目指しているとのことで、以前から目にしていますが、その対策として草食系男子が増えたなかで、積極的にアピールできるよう、講座を開くということをテレビで見ました。そんなことをしたからと言って出生率が上がることにはほど遠いと思います。</p> <p>現実問題、どの家庭でも一人出産し、かなりの費用がかかることを目の当たりにし、二人目を断念するケースが多いです。子どもの成長過程で小学校、中学校、高校などの進学費は置いといて、出産育児だけ考えた場合でも、かなりのお金がかかります。これは実際育児だけ考えた場合でも、かなりのお金がかかります。これは実際子どもを出産、育児している家庭しかわからないと思います。</p> <p>出産するにあたって補助券がありますが、それを使ったとしても検診費用はトータルでかなり高く、出産一時金が42万出ていても、それをはるかにオーバーする金額が出産するだけで産料から請求されます。ましてや島田市は産科がとて少なく、選ぶこともできず、多額な出産費用を払うしか選択肢はありません。出産するだけでもこんなにかかるのに、育てて行くにはもっとです。</p> <p>市町村によっては、出産するだけで100万円支給してくれるところもあります。そこまでしてほしいとは言いませんが、出産育児に多額のお金がかかるので、二人目を生もうとする余裕がなく、一人で終わるケースが多いです。</p> <p>うちも四人はほしいですが、とても出産育児にお金がかかるため、二人で断念です。</p>
---	----	---

	意見に対する考え方	<p>出産・子育てに金銭的負担が大きいことは、本市としても認識しております。今回の計画に具体的な施策を示すことはできませんが、今後の行政運営の参考とさせていただきます。</p>
2	意見	<p>育児にもお金がかかるから、働きたい。でも、保育料も高く、こんなにかかるなら旦那の扶養内で働くしかない。そうすると保育園に預けるお金もない。色々と悪循環になります。とても子どもを産んで育てて行くには支援が少ないと思います。</p> <p>昔と違って、今は妊娠、出産するだけでもかなり費用がかかり、生活して行く上でも費用がかかり、そのために働くためにも保育料などの費用がかかり。</p> <p>核家族化も進んでいるからこそ、子育てしやすく、働きやすい環境、支援をしてほしいです。</p> <p>実際、一人を妊娠し、出産し、育児してこんなにもお金がかかるものかと驚きました。</p>
	意見に対する考え方	<p>保育園保育料については、入園している児童の保護者等の所得状況により決定しています。</p> <p>本市では国が定める基準額から約20%軽減した保育料となっています。</p> <p>ご理解の程よろしくお願い申し上げます。</p>
3	意見	<p>一時保育など、その園に確認しなくてはいけないのですが、市がまとめて、どの園が対象でいくらでみてもらえるのかなど、一覧にしてほしいです。</p>
	意見に対する考え方	<p>一時保育につきましては、市のホームページの中で掲載しております。</p> <p>また毎月発行の「子育てカレンダー」の中でも情報提供を行っております。</p> <p>是非、ご覧ください。</p>
4	意見	<p>少子化少子化と言っているわりに支援が良くない。</p> <p>ひとり親家庭も、もちろん大変だと思うけど、両親そろっている家庭だって大変さは同じ。</p> <p>ひとり親家庭への助成金などは出るのに、両親そろっている家庭へのサポートがなさすぎ。だから、離婚が増えると思う。</p> <p>ひとり親家庭で助成金をもらえる人の審査をもっと厳しくした方がいいと思う。</p>
	意見に対する考え方	<p>ひとり親家庭への助成金(児童扶養手当)の支給判定については、国の基準に基づき養育費の一定額を所得に加算し、本人及び同居親族の所得が一定額以上の場合には支給しないこととするなど、厳しい審査体制の下で支給決定を行っております。</p> <p>ご理解の程よろしくお願い申し上げます。</p>
5	意見	<p>助成金がもらえるか保育料を安くするかどっちかにした方がいいと思う。両親いて収入によってだと(保育料の金額が決定する制度だと)生活のお金がキツくても、共働きしにくい。</p>
	意見に対する考え方	<p>保育園保育料については、入園している児童の保護者等の所得状況により決定しています。</p> <p>本市では国が定める基準額から約20%軽減した保育料となっています。</p>

		<p>ご意見につきましては、今後の当市の行政運営の参考とさせていただきます。</p> <p>ご理解の程よろしくお願い申し上げます。</p>
6	意見	<p>3人目産んだらお祝金etc・・・もらえるもらえないをはっきり決めて、ころころ変えるのは、やめて欲しい。</p> <p>正直、自分たちも、もらえると思っていましたが・・・もらえませんでした・・・</p>
	意見に対する考え方	<p>さわやか子育て支援金支給事業につきましては、平成23年度末をもって廃止しております。</p> <p>他の子育て支援施策の充実により、子育てしやすいまちを目指しておりますのでご理解の程よろしくお願い申し上げます。。</p> <p>また、事業の変更・廃止につきましては、市民への周知を徹底いたします。</p>
7	意見	<p>保育事業について</p> <p>P32 今後の方向性</p> <p>「利用人口が減少するため、今後の施設の供給体制が確保できる見通し」はおかしいのではないかと思います。子供の数が減少しているという状況を打開していくために、若い世代に早く子供を産んでもらったりもう一人産んでもらえる状況を作り出すことや、島田市が子育てしやすいまちをアピールして子育て世帯の島田市への移住を推進していくことを目標としているのなら、「①量の見込みが少ない」と感じる。</p> <p>また、幼稚園を利用しているが本当は保育園に通わせたいというニーズをもっと見込むべきだと思う。</p>
	意見に対する考え方	<p>今回の計画策定に際し、数値目標は、事業の現在の利用状況及び利用希望を把握し、地域の実情に応じて定めるよう国が示しています。</p> <p>当市においても、過去の実績に基づき、一般的に用いられる方法により人口予測数値を算出した上で、平成25年11月に実施したアンケート調査の結果を踏まえ数値目標を算出しています。</p> <p>当市としても子育て施策等により、子どもの数の減少傾向を改善したいと考えており、毎年度、各事業の需要と供給の確認、進捗状況の確認・評価を行い、人口に改善が見られる場合など、必要に応じて計画期間の途中年度における見直しを行います。</p>
8	意見	<p>放課後児童クラブについて</p> <p>P36 今後の方向性</p> <p>保育事業同様、利用者が減少していくだろうと見込むのではなく、増加していくと見込んで対策を立ててほしいと思う。子供を預かってもらえる場所があるのであれば、働きたいという希望は大変多いのではないかと思います。働きたいが働けない、産みたいが産めないという現状を変えていってこそ子育て支援の充実から人口増加、若年層の増加につながるのではないかと思います。</p> <p>働くにあたって、幼稚園では延長保育や長期休み中の希望保育が大変便利ですが、小学生の放課後児童クラブの不足は心配事だと思う。預ける場所がなければ、辞めざる負えない方もでてくる</p>

		<p>のではないか。小1の壁といわれる預かり時間の問題だけではなく、定員に余裕が無いことは不安である。また、現状はわかりませんが、長期休み中のみの児童クラブ利用のニーズも大変多いのではないかと思う。運営体制の充実も大変重要な事ですし、一層の定員増加を考えてほしい。放課後子供教室との連携することはいい取り組みだと思う。</p>
	意見に対する考え方	<p>保育事業同様、放課後児童クラブについても当市の過去の実績及びアンケート調査により量の見込みを算出し、平成31年度までに不足数を確保するよう数値目標を設定しています。</p> <p>施設の建設には財政的な負担が伴うため、緊急性の高い学区から優先的に施設の確保を進めます。</p>
9	意見	<p>親力の育成 P53 今後の方向性</p> <p>親同士の交流の場は大切だと思う。島田市の子育て支援センターの取組は他の市と比べても充実していると思う。情報の発信についても、子育てカレンダーの配布などとても便利だと思う。</p> <p>また、自由に外出出来ない場合、インターネットでの情報収集が多くなると思うがそれにも対応していて便利さを感じた。難しい事かとは思いますが、初めての利用にはなかなか勇気がいるものなので、写真などで利用状況がわかったり、利用者の声がわかるともっとたくさんの方に利用してもらえないかと思う。また、妊婦が支援センターは行きづらいかと思うので、プレママと子育て中のママの交流会とするなど、パパママ教室と同じレベルのターゲットを絞り、毎月10日と20日など具体的かつ日を絞って日程を組んだ方が参加しやすいのではないかと思う。子育てカフェなどの取組は意見交流ができて良いと思うが、ちょっとハードルが高いと感じる方も多いと思う。参加しなくても意見のやり取りがどんなものだったのか、ひとことコラムのように子育てカレンダーに書かれていれば読んでみたいと思う。講座は子育て中に関心の高いものが多く、とても良いと思う。</p>
	意見に対する考え方	<p>情報発信については、平成27年度新規事業である子育て支援ポータルサイト（子育て応援つなげる環境づくり事業）の実施により、情報発信体制の強化を図ります。</p> <p>また、地域子育て支援センターについては、地域の中の親子の抛り所として、地区の保健師との連携を図るなど相談体制を充実させます。</p> <p>母子手帳交付時に地域子育て支援センターの紹介案内を交付するなど、妊娠期からご利用いただき、先輩ママとの交流が生まれるような雰囲気づくりに努めます。</p>
10	意見	<p>地域協働による子育て支援</p> <p>お金をかけて市で出来る事には限りがある中で、地域住民での交流を通して子育て支援につなげていくことは大切な事だと思う。公園も多くなさく、公園での出会いや交流も減っている中、児童館やつどいの広場はいいきっかけとなると思う。こどもだけではなくお年寄りも集まる場所が少ないのではないかと思うので、どちらも気軽に訪れる事ができる場をきっかけとして交流できる</p>

		<p>よくなると地域として良くなると思うので、いい取り組みだと思う。保育園の園庭開放がもっと周知されるといいと思う。幼稚園や小学校など、時間外に開放していくことはむずかしいのでしょうか？</p>
	意見に対する考え方	<p>幼稚園や小学校の開放については、今回の計画に反映することはできませんが、今後の児童福祉行政を運営する上で参考とさせていただきます。</p>
11	意見	<p>子育てカフェで様々な意見がでていて、まったくその通りだと思った。島田市はたくさんの取り組みをしていて、まだまだ知らない活動がたくさんあった。これからの活動計画にも期待しています。ますます、島田市が子育てしやすいまちになってほしいと思う。</p>
	意見に対する考え方	<p>今後も子育てカフェ等の特色ある施策を実施し、子育てしやすいまちとなるよう努めます。</p>
12	意見	<p>たまに中央小公園に行ってみるのですが、利用者が少ないように思います。何か安心安全な気がしません。子育て支援の形で子育て親子の居場所作りを願い、応援したいと思います。いかがが。</p>
	意見に対する考え方	<p>子育てしやすいまちには子育て親子の居場所作りが、大切なことのひとつであると認識しております。今後の行政運営の参考にさせていただきます。</p>
13	意見	<p>少子化対策として様々な子育て施策をかかげていますが、ひとつ提案したいことがあります。</p> <p>「お母さんになりたい応援団」に縁があってボランティアさせていただいているのですが、「子育て支援とは、いま子育てに関わっている人たちを支援するというだけのものではありません。これから産みたい、育てたいと思い頑張っている女性をも支援したいのです。」</p> <p>私もこんな思いで応援していました。参加した方々は皆笑顔で帰っていきます。妊娠したOGの参加もあり協力してくれます。</p> <p>小さな力で、でも大きな熱意で皆がんばっているのですが限界もあります。行政側の力、知恵もおかりして、いっしょになって何らかの形で継続できたらすばらしい施策になるのではと思っています。</p> <p>島田でぜひ平成31年度達成状況確認時には、出生率が右あがりになっていることを期待したいと思います。</p>
	意見に対する考え方	<p>当市においては、多くの市民団体による子育て支援活動が行われており、その熱意にとっても感謝しております。</p> <p>子育て支援団体に対し、行政としてどのような協力ができるのか、今後も検討を進めていきます。</p>
14	意見	<p>こども館多目的室をこどもたちの居場所づくり、すなわち「しまだっこ遊びの広場」として活動し、支援することを理解・協力していただきたい。</p>
	意見に対する考え方	<p>平成27年度からこども館は指定管理者の管理運営となります。ご意見について、指定管理者には、関係団体と連携を図りながら</p>

	方	<p>事業を実施する旨を伝えてあります。</p> <p>ただし、こども館の多目的室は、各種イベントや活動室の教室・講座等の開催、また会議室等として使用しており、これらの事業等との調整が発生すると思われますので、その点につきましてご理解をいただければと存じます。</p>
15	意見	<p>私は公務員なので満3才までの育児休業を活用していますが、一般企業の方は、1才までに復職を求められる上、保育所がどこになるか直前までわからないという話を聞きました。「3号認定」の量の見込みはH31年度までに解消される様ですが、企業への育児休暇拡大（補助金を出す等）の要請や地域型保育事業の拡大をお願いしたいです。</p>
	意見に対する考え方	<p>保育所の入園先ですが、なるべく希望園に入園できるよう調整を行っておりますが、その年によって希望園が集中することもあり、全ての方が第一希望の保育園に入園することは不可能なのが現状です。</p> <p>計画にも記載しておりますが地域型保育事業拡大のため、企業に対して保育事業の参入を促していきます。企業への育児休暇拡大につきましては、新たに「企業内子育て環境アップ事業」として計画に追加で記載しております。</p>
16	意見	<p>認定こども園の考え方に賛成です。母親の働き方の多様化に対応したり、第二子誕生に伴う第一子の転園や自宅保育といった環境の変化をなくしたりということが可能だからです。</p> <p>現に幼稚園では、2歳から入園を認める、延長保育等で園児を集めています。制度的にも経営面でも難しい所が多々あるとは思いますが、母親が働きやすく、出産しやすく、育てやすい環境作りを行政に企業をお願いしたいです。</p>
	意見に対する考え方	<p>計画にも記載しておりますが、認定こども園については、親の就労等に関係なく利用できる施設であることから、今後は保育需要が高い場合には、幼稚園に認定こども園への移行を支援していきます。</p>
17	意見	<p>P13 (6) 女性の労働の状況</p> <p>結婚、出産期に離職する女性が多いという結果から、離職理由の詳しい調査が必要かと思われる。P19「育児休業を取得していない理由」として、子育てや家事に専念するため退職したという項目で49.6%が回答している。</p> <p>子育てや家事に専念するための理由には、こどもを自分の手で育てたいと思う親と両立（何らかの理由で）が難しく退職せざるをえない場合など、離職理由によって対策は違ってくると思う。</p> <p>多様な生き方を選択できる島田市であって欲しい。</p>
	意見に対する考え方	<p>当市としましても、家族の状況に応じたきめ細かな支援が必要との認識しております。今後の当市の行政運営の参考とさせていただきます。</p>
18	意見	<p>「子育ては大変」→「子育ては意義あるもの。生きがいのあるもの」への意識変換が必要。</p> <p>大人として、こどもを「健全な大人」へと成長させる義務があることなど親になる前、思春期からの教育が大切。大人としての</p>

		<p>自覚、責任など「大人への教育」が大切。</p>
	意見に対する考え方	<p>親力の育成につきましては、本市としましても非常に重要視しており、これからパパ・ママになる思春期の市民を対象とした講座等の開催を検討しております。</p> <p>今後の事業の方向性を検討する上で参考とさせていただきます。</p>
19	意見	<p>こどもの安全な居場所づくり 安全な遊び場の確保・・・場所、人の確保をどうするのか、遊び場というハード面だけでなく、遊び方を伝えるソフト面での提供をどのように考えているのか。</p>
	意見に対する考え方	<p>こどもの安全な居場所につきましては、教育機関、福祉機関、地域、保護者、スポーツ少年団との連携体制を強化し、協力を得ることにより拡充を図ります。</p>
20	意見	<p>児童クラブやこども園の職員配置について 児童クラブ等では指導員の確保が困難と聞いているが職員の確保と質を保つための保有資格についてはどうなっているのか。 こども園では保有資格によって業務内容に差があるのかなのか</p>
	意見に対する考え方	<p>児童クラブにつきましては、平成27年度から放課後児童支援員研修制度が始まり、この研修の修了者を平成31年度までに各クラブに2人以上配置することとなります。</p> <p>支援員研修は、保育士、社会福祉士、教諭の資格を有する者等又は2年以上放課後児童健全育成事業等に従事したものであれば受講することができます。</p> <p>また、放課後児童支援員以外の指導員につきましては、資格の有無を問わず、子育て支援に関心の高い方を中心に採用し、市独自の研修等を実施し、質の維持・向上に努めています。</p> <p>こども園の職員としての必要な資格は下記のとおりです。</p> <p>満3歳未満の子どもの保育に従事する場合は保育士の資格が必要です。満3歳以上の子どもの教育・保育に従事する場合で、短時間利用児のみであれば、幼稚園教諭又は保育士のどちらか一方で可となります。</p> <p>長時間利用児のみは保育士資格が必要です。</p>
21	意見	<p>しっかりまとまっていて、市の主張が良く分かります。</p> <p>特別な支援が必要な子どもが増えてきているということ、幼稚園から聞くことがあります。そうした指導については、現在、ふわりさんの方に大変ご苦勞をおかけしており、有難く思っています。</p> <p>今後、幼稚園でも特別な支援の充実を図る為には、そのための教員の配置が必要になってきますが、現在はまだ不十分な面が見られ、各園では大変苦勞しているということも聞きます。</p> <p>子育て支援という大きな枠組みの中においても、教員配置、教育環境面等、今後の行政上、改善工夫が必要となると思います。</p> <p>これからの特別支援の充実を期待しています。</p>
	意見に対し	<p>幼稚園において特別な支援が必要な子どもの充実については、</p>



	する考え方	市として、今後、幼稚園に対してどのような支援ができるか検討していきたいと考えます。
22	意見	<p>P21の図から、幼稚園側からの一つの見方として、“幼稚園の預かり保育を利用しながら、幼稚園教育を希望していること”がうかがえます。</p> <p>そこで、新しい子育て支援制度の中で、このことが充実して運営できるようなあり方を望みます。</p>
	意見に対する考え方	<p>今回の計画に反映させることはできませんが、今後の当市の行政運営の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、新制度の中で預かり保育を実施した幼稚園については、市から「一時預かり事業」として新たな補助金助成事業としてスタートすることとなっています。</p> <p>なお、この事業につきましては新制度に移行する幼稚園が対象となります。</p>
23	意見	<p>親力の育成から</p> <p>学校教育のアンケートで地区からの回答に、集団生活のルール、マナーを大人自身がという意見がありました。自分自身も含めて子どもの周りの大人自身が親力をつけることはとても大事なことだと思いました。</p>
	意見に対する考え方	<p>親力の育成につきましては、当市としましても非常に重要視しており、その方策につきましては、今後も検討する必要があると考えております。</p> <p>大人のマナーにつきましては、今回の計画に反映しませんが、今後の事業の方向性を検討する上で参考とさせていただきます。</p>
24	意見	<p>老人ホームや幼稚園または保育園が一緒の場所、または隣同士にあったり、さらに、誰もが交流できるカフェのような場所がつながってあるなど、子育ても、お年寄りとの交流も、さらに誰もが自然に立ち寄れるような憩いの場所が総合的にあれば、いろいろな面が自然に解決できるのではないのでしょうか。</p> <p>このような総合的なコミュニケーション、ふれあいの場所が、自然にできるような環境構成を違った視点で考えてみると、子育てに役立つのではないのでしょうか。</p>
	意見に対する考え方	<p>今回の計画に反映させることはできませんが、今後の当市の行政運営の参考とさせていただきます。</p>

#### 4 お問い合わせ

島田市健やか・こども部子育て応援課

住 所：〒427-8501 島田中央町1-1

電 話：0547-36-7159

FAX：0547-36-8006